

環境 NEWS (第26回)



全日本サーフキャスティング連盟本部 環境部

水産庁のホームページに『都道府県別海面漁業・養殖業産出額』のデータがありましたのでご紹介したいと思います。

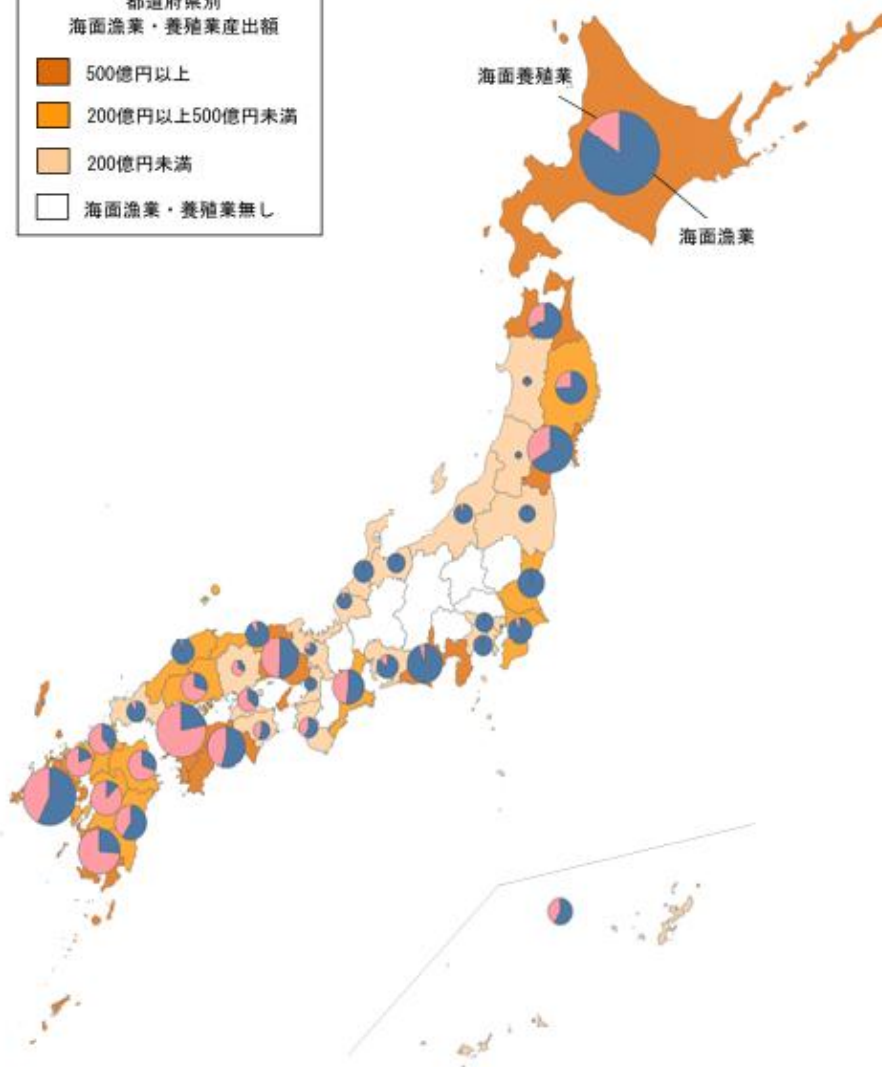
令和5年における海面漁業・養殖業産出額の上位5都道府県は、北海道が2,836億円(対前年増減率9.5%減少)、長崎県が1,238億円(同11.7%増加)、愛媛県が1,086億円(同10.9%増加)、宮城県が888億円(同3.7%減少)、鹿児島県が768億円(同0.3%減少)の順だそうです。

西日本は、東日本に比べて養殖が盛んなのが解ります。それだけ自然界のサカナが減ったのかも知れませんね。

ちなみに、海面漁業とは海で行われる漁業で、沿岸漁業・沖合漁業・遠洋漁業・海面養殖などがあります。これに対して、河川や湖沼など淡水で行われる漁業を内水面漁業といいます。

図4 都道府県別海面漁業・養殖業産出額及び構成割合

(凡例)



水産庁

注：都道府県ごとの円グラフの大きさは、漁業産出額（実額）を表している。